

大学における太陽光発電設備の導入プロジェクト

学校法人 中部大学

学校法人 中部大学

所在地： 愛知県春日井市松本町1200
代表者： 理事長 飯吉 厚夫
学生数： 14,193名（平成28年5月1日現在）
職員数： 995名（平成28年5月1日現在）
URL： <http://www.chubu.ac.jp/>

1 大学の概要

中部大学は、開学50周年を迎えた総合大学です。「不言実行、あてになる人間」を建学の精神とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献することを基本理念としています。

2 環境への取り組み

中部大学では「中部大学スマートエコキャンパス」を掲げ、スマートグリッドシステムを中心にエネルギーのスマート化を目指し、再生可能エネルギーの活用、コージェネや蓄電池設備の導入、高効率機器の採用等を行い低炭素社会に貢献しています。

3 制度活用のきっかけ

中部大学においては、大学教育や研究分野に加えて、施設管理部門においても、化石エネルギーによる環境負荷の低減に高い関心がありました。今回、伊勢志摩サミットのカーボンオフセットの取組みの中で、経済産業省中部経済産業局より、J-クレジット制度に関する説明を受け、自家消費ならば、補助金を活用した太陽光発電も対象になることを知りました。

4 取組の感想

平成24、25年と文部科学省の「私立学校施設整備費補助金」を申請していたため、その時に算出したCO₂に関するデータをJ-クレジットの創出にそのまま使用することができ、スムーズに準備が進められました。また、補助金を受けていない太陽光発電設備についても、電力の使用量など通常保管している月次データ類で足りました。平成28年6月から準備を開始して申請、登録まで約6カ月程度でできました。

5 制度活用による効果

取得している補助金の関係から、クレジットの発行については、少し先になる予定です。認証後は社会貢献の一環としてイベントや地産品などのカーボン・オフセットに提供していきます。

6 CO₂削減プランCO₂排出削減量見込 137tCO₂/年

投資回収年数 8.8~39.7年